

武蔵野市 第五期長期計画が スタートします

— 武蔵野から新しい都市像を開こう —

平成24年度から33年度までの10年間を計画期間とする「武蔵野市第五期長期計画」が4月から始まります。長期計画は、昭和46年に策定された第一期長期計画から続く、市政運営の基軸となる市の最上位計画です。

第五期長期計画の策定にあたっては、平成22年8月に市民で構成する策定委員会を設置し、多様で広範な市民意見を反映するため、討議要綱（議論のたたき台）と計画案を順次公表し、全戸配付して意見を募集した

ほか、公募市民会議の設置や関係市民団体などへのヒアリング、そして今回初めての試みである無作為抽出市民によるワークシヨップなど、さまざまな市民参加の機会を設けました。これらの約1年半の議論を経て策定委員会から答申された計画案をもとに、市議会の議決を経て、計画は成立しました。

この計画では、まちづくりの3つの視点と4つの目標を掲げるとともに、7つの重点施策を優先して、各事業を実施していくことを定めています。変化化する社会情勢に柔軟に対応しながらも、長期的な視点に立った市政運営を進め、次世代に誇りを持って継承できる「持続可能な都市」の創造を目指していきます。

計画書・市役所、各市政センター・図書館などで配布
市ホームページに掲載
市報4月1日特集号（概要版）を全戸配布。

企画調整課

☎0422(60)1801

TOPICS

まちづくりの 3つの視点と4つの目標

●まちづくりの視点

①つながりを広げよう

隣の人と挨拶を交わそう。地域の集まりのひとつに顔を出してみよう。誰もが自分の居場所として感じられる地域社会を目指そう。市民が互いに閉じ込められず、つながりを広めることは、真の豊かさを手に入れるための第一歩である。

②多様性を力にしよう

年齢や性別における多様性、単身者から子育てファミリー、高齢者までを含む多様性、国籍や文化的な背景の違いによる多様性、職業・ライフスタイル・価値観や市民活動・市民文化における多様性。こうした多様性を活力に変えていこう。

③市民の意識を行動に変えよう

市民の誰にも市民としての活動の機会や出番がある、そうした地域社会を目指そう。市民としての意識を日常の行動に変えていこう。市民の活動をさらに発展させながら今後10年のまちづくりに活かしていこう。

●まちづくりの目標

①自治と連携によるまちづくり

将来にわたり安心して生活することができると地域社会にするため、本市ならではの自治と連携のまちづくりを推進する。

②支え合いをつむぐまちづくり

地域に暮らす人々が、温かなつながりによって互いに結び付き、誰もが住み慣れた地域でいきいきと暮らし続けられる支え合いをつむぐまちづくりを推進する。

③平和で美しいまちづくり

都市リニューアルや災害に強いまちづくりを進めるとともに、都市文化の表出である美しい街並みの形成などを図っていくことで、平和で美しさを誇れるまちづくりを推進する。

④環境と共生するまちづくり

きれいな水、身近な緑、多様な生物など、健康で安心して生活できる環境を次の世代に引き継ぐために、環境と共生するまちづくりを推進する。

新監査委員が 任命されました

昨年12月末日で任期満了となった藤井泉・前監査委員の後任として、市議会の同意を得て、1月1日付で五十嵐修氏（前総務部長。59歳）が新監査委員に任命されました。任期は4年です。



五十嵐 修

略歴

昭和51年3月 東京外国語大学外国語学部卒業
昭和52年4月 武蔵野市役所就職
平成16年4月 交流事業担当部長
平成19年4月 環境生活部長
平成22年4月 総務部長